

第34回日本助産学会 学術集会

日程：3月21日(土)～22日(日)
[プレコンgres 3月20日(金)]

会場：朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター(新潟市中央区)

テーマ：人生100年時代の助産ケア

プログラム：会長講演「人生100年時代におけるゲノム医療と意思決定支援」有森直子(新潟大学)／特別講演「人生100年時代のウイメンズヘルスと助産」Professor Caroline Homer (Burnet Institute, University of Technology Sydney)※／教育講演1 (CLoCMiP® ステップアップ研修・周産期の倫理に関する研修, 要事前登録)「周産期と倫理」宮坂道夫(新潟大学)／2「新潟県のリプロダクティブ・ヘルスの黎明期を支えた人たち—新潟県助産師教育の黎明と世界が認めた産婦人科医 荻野久作 渡邊典子(新潟青陵大学)／3「新たないのちをチームで見守る—周産期医療チームの連携」豊島勝昭(神奈川県立こども医療センター)／4「学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子もたち」日高庸晴(土塚大学)※／シンポジウム1「乳がんと助産ケア」※／2「ときめき女性医学—助産学と女性医学の連携を探る」(共催：日本女性医学学会)※／3「大規模コホート研究が導く人生100年時代の助産ケア—女性の生活習慣と健康 環境と子どもの健康に関する調査から」※／4「今世界が目している出産ケア」※／5「助産師教育の修業年限2年を考える」／6「女性の健康と冷え症のケア」※／交流集会1「明日から使え

る！ 冷え症ケアの『技』」／2「授乳を取り巻く新たな動き—授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)・乳腺炎ガイドライン2020」／3「性暴力への対応力を高める：日本版性暴力対応チーム研修体験のすめ」／4「エディターが読みたいと感じる論文タイトル—Attractive article titles from the perspective of a journal editor」／5「新潟は米処！酒処！もぐさ処？！—鍼灸師だけが知っているお灸の魅力とツボケア」／6「2019 助産政策はどう動いているか」／7「改訂のポイント！ エビデンスに基づく助産ガイドライン2020—妊娠期・分娩期・産褥期」／8「明日から活かせる！ 逆子妊婦に研究に基づいた情報提供を」／市民公開講座1「お母さんに知ってもらいたい予防接種の正しい知識—お子さんを感染症から守るために大人ができること」齋藤昭彦(新潟大学)／2「聴かせてください！ あなたの大切な人が産まれる時のこと」堀内成子(聖路加国際大学)

※はCLoCMiP® ウイメンズヘルスケア研修

参加費：[当日登録] 会員 1万3000円, 非会員 1万5000円, 学生 5000円, 懇親会費 9000円(定員100名, 先着順)

※学生は助産師になるための教育課程(専門学校・大学・大学院等)に在学している学生・院生(専門学校・短大・大学等に在籍する看護学生等も含む)。

問い合わせ先1：新潟大学大学院保健学研究科内事務局
〒951-8518 新潟市中央区旭町通2-746

☎&FAX 025-227-0948

問い合わせ先2：株式会社アド・メディック内運営事務局
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野310

☎ 025-282-7035

FAX 025-282-7048

✉ jam34@admedic.co.jp

HP <https://admedic.co.jp/jam34/index.html>

一般社団法人国際母子ケア 協会認定アロマセラピープラ クティショナーコース／アロ マケアスペシャリストコース

【アロマセラピープラクティショナーコース】

日程：[4月コース] 4月15日(水), 16日(木) [7月コース] 7月2日(木), 3日(金)

内容：アロマセラピー全身トリートメント手技習得コースです。妊産婦へのトリートメントも含まれます。アロマセラピーの基礎を確認しながら、臨床に取り入れられる手技習得を目指します。クライアントへのコンサルテーション、適切な精油ブレンド選択と、実際のケアまで幅広く学習します。

【アロマケアスペシャリストコース】

日程：[4月コース] 4月22日(水), 23日(木) [7月コース] 7月8日(水), 9日(木)

内容：アロマセラピーの基礎から学び、最終的に臨床に応用できるまでを目指します。医療従事者のみのコースなので専門性が高く、精油を臨床に応用するための正しい知識とブレンド技術により、安全かつ有用なアロマセラピーケアを実践に移せる人材を育成します。

(以下、両コース共通)

会場：アクエリエル京都(京都市北区)

対象：看護師、助産師

定員：各8名

参加費：各コース9万円(税別)

申込方法：受講希望のコース名を件名に明記(「アロマセラピープラクティショナーコース〇月コース受講希望」もしくは「アロマケアスペシャリストコース〇月コース受講希望」)し、本文に①氏名②住所③電話番号を記入の上、下記アドレスに送信。

問い合わせ先：IAMB(一般社団法人国際母子ケア協会)事務局

☒ info@iamb.jp

☎ 075-468-7082

HP www.iamb.jp

追憶「毛利種子先生」 お産の心を語り継ぐ

日時：5月17日(日)13:00～15:00

会場：兵庫県学校厚生会館(神戸市中央区)

内容：お産の心を語り続けた毛利種子先生。助産歴70年、休むことなく助産師であり続けた一人の助産師。私たちはその生き方に深く心を揺り動かされました。先生の助産師として、女性として、母親として生きてきた証を思い返し、私たちに伝えたかったことは何か深く考えたいと思います。

パネリスト：嶋澤恭子(神戸市看護大学准教授)、毛利多恵子(毛利助産所所長)、森本文美(種子先生の分娩介助で出産された方)、高橋八重子(たかはし・いしむら助産所助産師)

参加費：助産師2000円、学生・一般1000円

申込・問い合わせ先：「種子先生のお産の心を語る会」メンバー・石村

☎ 090-8534-6372

FAX 078-974-9281

☒ aabcdef58@yahoo.co.jp

妊婦ヘルスケア・トレーナー 育成コース

日時：【東京会場】5月22日(金)10:30～18:00、23日(土)10:30～17:15(第12期)【大阪会場】5月30日(土)10:15～17:30(第13期)

会場：【東京会場】有明ガーデン BabySmile セミナールーム(東京都江東区)、【大阪会場】ドーンセンター(大阪市中央区)

対象：妊産期・産褥期の運動を通しての健康支援に興味がある助産師、看護師、保健師、医師。それ以外は要相談。

内容：病院や行政、子育て支援センター、訪問などで10分でできる妊娠・産褥期の簡単なエクササイズプログラムとその指導法を学び、妊婦・産婦が運動を始めるきっかけと自宅でのセルフケアの促進につなげる。

プログラム：
【5月22日(金)、東京会場】
①両親教室などで指導する10min. フィット・フォー・マタニティ Papa(2時間)／②お産に向けた機能改善エクササイズ(2時間)／③産褥期(入院中)の疲労改善エクササイズ(2時間)

プログラム：

【5月22日(金)、東京会場】

①両親教室などで指導する10min. フィット・フォー・マタニティ Papa(2時間)／②お産に向けた機能改善エクササイズ(2時間)／③産褥期(入院中)の疲労改善エクササイズ(2時間)

【5月23日(土)、東京会場】

④妊娠期の不定愁訴予防・改善エクササイズ(2.5時間)／⑤両親教室などで指導する10min. フィット・フォー・マタニティ Mom(3時間)

間)

【5月30日(土)、大阪会場】

①両親教室などで指導する10min. フィット・フォー・マタニティ Papa(2時間)／②お産に向けた機能改善エクササイズ(2時間)／③産褥期(入院中)の疲労改善エクササイズ(2時間)

※1講座ずつ受講可

講師：小林香織(健康運動指導士、NPO法人フィット・フォー・マザー理事長)、長坂桂子(母性看護専門看護師、助産師)、横手直美(助産師、中部大学生命健康科学部准教授)

定員：【東京会場】各講座30名、【大阪会場】各講座25名

参加費：①、②、③7700円(2時間の講座)／④9900円(2.5時間の講座)／⑤1万1000円(3時間の講座)※資料、練習用エクササイズ動画、フィット・フォー・マタニティ Mom エクササイズシート、受講報告書、修了証書が含まれます。

申込方法：下記、NPO法人フィット・フォー・マザー・ジャパンのホームページより。

HP <https://www.fitformotherjapan.org/>

申込締切：【東京会場】5月10日(日)、【大阪会場】5月15日(金)

問い合わせ先：NPO法人フィット・フォー・マザー・ジャパン

☒ fit.for.mother.japan@gmail.com

産後ママのカラダを元気にするためのホットピックとエクササイズ
—現場で活かせる！
フィット・フォー産後 Mom
クイックプログラムの提案

日時：6月5日(金)10:30～
16:15

会場：有明ガーデン BabySmile
セミナールーム(東京都江東区)

対象：産後の女性の健康支援に興味がある助産師、看護師、保健師、医師

内容：妊産婦に寄り添う医療者である助産師、女性の体の課題を身体機能から見る理学療法士、運動方法をわかりやすく伝える運動指導者から、産後、体を動かす習慣につながるホットな情報と具体的なエクササイズ方法を提案する。

プログラム：①from 助産師：産後のママのカラダ事情とオシゴト事情—運動時間の作り方／②from 理学療法士：姿勢を変えると効果も変わる!?—尿もれ、肩こり、腰痛を予防するには?／③from 運動指導士：セルフケアにつながる産後 Mom 向けクイック・プログラムの提案

講師：長坂桂子(母性看護専門看護師、助産師)、荒木智子(理学療法士)、小林香織(健康運動指導士)

定員：各講座 30 名

参加費：1 万 1000 円

申込方法：下記、NPO 法人フィット・フォー・マザー・ジャパンのホームページより。

HP <https://www.fitformotherjapan.org/>

申込締切：5月20日(水)

問い合わせ先：NPO 法人フィット・フォー・マザー・ジャパン

✉ fit.for.mother.japan@gmail.com

第 22 回日本母性看護学会 学術集会

日時：6月28日(日)

会場：北里大学白金キャンパス(東京都港区)

テーマ：母性を支える看護力—叡智を実践へ

プログラム：[メイン会場] 会長講演「母性を支えるために『看護力』を再考する」島袋香子(北里大学看護学部教授)／教育講演 I 「現代母親像—重症心身障害児家族の QOL 支援から見えてきたもの」小林保子(鎌倉女子大学児童学部児童学科教授)／特別講演「女性の健康支援に漢方医学の力を活用する」小田口浩(北里大学東洋医学総合研究所所長)／教育講演 II 「タッチングの科学—オキシトシンと親子の愛着」山口創(桜美林大学リベラルアーツ学群教授)／シンポジウム「母性を支える看護力—叡智を実践へ」立岡弓子(滋賀医科大学医学部看護学科教授)、大田康江(順天堂大学医療看護学部准教授)、岡本登美子(ウバウバハウス岡本助産院院長)、平林奈苗(北里大学病院看護部主任・母性看護専門看護師)

[サブ会場] 高度実践看護師育成支援委員会主催企画／教育セミナー「周産期の糖代謝異常の考え方と対応」成田伸(自治医科大学看護学部教授)* [CLOCMiP® レベルⅢ認証申請必須研修フィジカ

ルアセスメント：代謝]／ナーシングサイエンスカフェ「総合周産期母子医療センターってどんなところ?—産科病棟、小さな赤ちゃんがいる NICU で働く看護職に話を聞いてみよう」／特別企画「母子の健康と子育てを応援するコミュニティづくり—北海道大学 COI『食と健康の達人』拠点の目指す社会」吉野正則(北海道大学 COI『食と健康の達人』拠点プロジェクトリーダー／日立製作所シニアプロジェクトマネージャー)、玉腰暁子(北海道大学 COI『食と健康の達人』拠点研究リーダー／北海道大学医学研究教授)

参加費：[事前登録] 会員 7000 円、非会員 9000 円、[当日参加] 会員 9000 円、非会員 1 万 1000 円、学生(大学院生除く) 2000 円

事前登録期間：5月22日(金)まで

事前登録方法：下記 URL のオンライン参加申込フォームより。

HP <https://bosei22.secand.net/sanka.html>

事前登録入金締切：5月29日(金)
※会員は、4月30日(木)までに日本母性看護学会事務局に入会申込し、会費を納入した人とする。学生は当日学生証を提示。

演題登録期間：3月20日(金)まで

問い合わせ先：北里大学看護学部(母性看護・助産学)内事務局 担当：香取洋子

☎ 042-778-9361

✉ jsmn22@nrs.kitasato-u.ac.jp

HP <https://bosei22.secand.net>